

兵庫県 のり漁場環境情報 (東播海域 臨時 号)

2023年 2月 3日発行
 兵庫のり研究所

海域西部において、大型珪藻のユーカンピアは確認されていますが、発生量は大きく減少しています。窒素は、鋼管漁場で $2 \mu\text{g-at/L}$ 台、新漁場で概ね $2 \mu\text{g-at/L}$ 前後、二見～別府漁場では陸水等の影響により特異的に高い地点を除き、地先で概ね $2 \sim 4 \mu\text{g-at/L}$ 台、沖筋で概ね $1 \mu\text{g-at/L}$ 台、高砂漁場では $1 \mu\text{g-at/L}$ 以下の値となっています。

(水温) 漁場内平均 9.5°C 。昨年及び平年並。(塩分) 平均 32.48psu 。前回 (32.15) より 0.33psu 高い。
 (栄養塩、珪藻他) 海域西部では、大型珪藻のユーカンピアは確認されたが、前回 (1/30) 調査より発生量は大きく減少していた。小型珪藻はわずかに確認される程度であった。ただし、二見漁場東沖 (調査地点⑫) のみ、小型珪藻のキートセロスが確認された。海域東部では、栄養塩を消費する珪藻類はわずかに確認される程度であった。各海域のユーカンピア発生量 (海水 1ml あたり) は、林崎漁場で $0 \sim 1$ 細胞 (前回値: $0 \sim 5$ 細胞)、魚住～別府漁場で $0 \sim 5$ 細胞 (前回値: $5 \sim 25$ 細胞)、高砂漁場で $30 \sim 70$ 細胞 (前回値: $80 \sim 300$ 細胞) であった。
 別府漁場地先・加古川河口では、陸水等の影響によりアンモニア態窒素の値が特異的に高くなっていた。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	8.7	9.5	9.5	9.5
窒素	1.8	2.8	2.9	1.1
リン	0.46	0.44	0.35	0.33

(1/30)

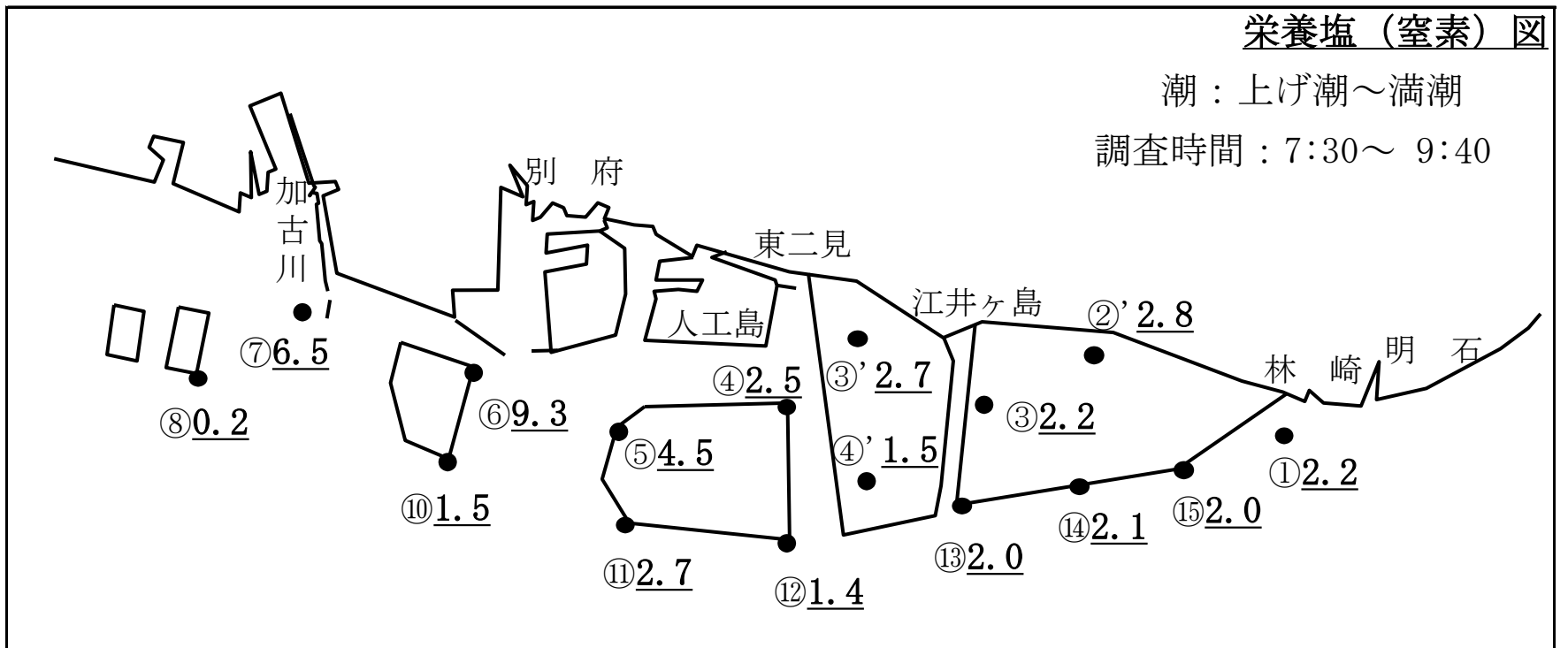
(2/3)

2023年 2月 3日調査

栄養塩 (窒素) 図

潮：上げ潮～満潮

調査時間：7:30～9:40



水温図

